令和8年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	高校生の美術１（日本文教出版）
	補助教材：	なし

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目（　美術Ⅰ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

令和8年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	単元　文字のデザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	美しく見やすい文字の形を理解し、レタリングとしての表現ができるようにする。	レタリングの方法、文字を素材としてのデザイン					美しく見やすい文字の形を理解し、レタリング表現ができている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	文字の組み合わせによるデザイン性と色彩感覚を養う。	レタリング教本、教科書、ワークシート等					文字の組み合わせによるデザイン性に注目し、配色を検討している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	デザインの組み合わせの多様性の中から、根気よく、より良いものを探そうとする態度を養う。丁寧な作業を心がける態度を養う。	振り返りシート					多くの組み合わせの中から、より良いものを探し出し、彩色も丁寧に行っている。				
	単元　鉛筆デッサン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	デッサンに適した鉛筆の削り方や使い方を理解し、構図の大切さを考えながら、立体感や質感を表す。	静物デッサンの基本					画材としての鉛筆を適切に使い、構図に留意し立体感や質感などが表現できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	対象をよく観察し、立体感、色、空間、質感の違いを比較しながら判断して表す。	デッサン用具（鉛筆、練りゴム、カッター）、ワークシート、教科書等					対象をよく観察し、立体感、色、空間、質感などを表そうとしている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	表現向上の為に根気強く対象に向き合い、描き方の基本を身に付けようと主体的に取り組む態度を養う。	振り返りシート					根気強く対象に向き合い、主体的に描き方の基本を身につけようとしている。				

令和8年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
2学期	単元　シルバーリングのデザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	身につける装飾品のデザインであることや制作方法を理解し、考えたアイディアを図で表現することができるようにする。	アイデアスケッチ、デザイン画の表記の仕方					リングデザインの制作方法を理解し、アイディアを図で表現できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	様々なシーンでの使用を考えて発想し、安全で美しいフォルムで、制作可能なデザインの構想を練る。	ワークシート、参考作品		○		○	様々なシーンを想定して発想し、制作可能なデザインの構想を練っている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	使う人や使用場面、制作可能か否かを考えて意欲的にデザインしていく。	振り返りシート					使う人や使用場面、制作可能か否かを考えて意欲的にデザインしている。				
	単元　シルバーリングの制作（彫刻、ワックス成型）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	ワックス成型の制作方法と道具の使い方を理解し、彫刻により美しい立体表現ができるようにする。	ワックスを素材としての彫刻、道具の正しい使用について					制作方法と道具の使い方を理解し、彫刻により美しい立体表現ができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	意図する形を彫り出すための手順や、美しく仕上げるための道具の使用方法を考えて制作を進めていく。	ワックス、彫刻刀、リーマー、棒やすり等のワックス造形用具、紙やすり	○				手順や道具の使用方法をよく考えて制作を進めている。	○	○	○	12
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	根気よく丁寧に作業を進め、制作後の片付けや清掃を積極的に行う態度を養う。	振り返りシート					根気よく丁寧に作業を進め、片付けや清掃を積極的に行っている。				
	単元　シルバーリング（鋳造）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鋳造の方法と手順を理解し、道具を活用して美しく仕上げる。	鋳造について、安全な作業について					鋳造の方法と手順を理解し、道具を活用して美しく仕上げている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	安全面に留意しながら、道具の使い方を工夫して意図する形を目指して制作していく。	耐火石膏、金枠、ピューターインゴット、こんろ等	○				安全面に留意しながら、道具の使い方を工夫して制作している。	○	○	○	10
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	意欲的に鋳造作業に取り組み、美しい仕上げを目指して丁寧に根気強く作業に取り組む態度を養う。	振り返りシート					意欲的に取り組み、丁寧に根気強く作業を進めている。				
	単元　絵画作品鑑賞（模写の準備）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	模写のための作品を探す中で、美術史の流れを理解する。	美術史					模写のための作品を探す中で、美術史の流れを理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	自ら表現したい対象や技法を基に、それを習得するための作品を選んでいく。	画集、教科書				○	自ら表現したい対象や技法を習得するための作品選びを行っている。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	様々な表現の中から、意欲的に自らの技法習得のための作品を選択する。	インターネットの使用					意欲的に自らの技法習得のための作品を選択している。				

令和8年度　年間授業計画　科目（　美術Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
3学期	単元　絵画作品鑑賞（模写のための作品選択）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				○	次の観点別評価規準に従い評価する。				4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	様々な作家の作品を鑑賞し、作家の時代背景や芸術様式を理解し、模写のためのレポートを作成する。	作品選択の視点、鑑賞レポートの書き方					様々な作家の作品を鑑賞することで作家の時代背景や芸術様式を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	興味・関心を持った作品について、特徴や作家についてよく調べてレポートにまとめる。	画集、図録、教科書、ワークシート					試行錯誤して作品選択し、作品の特徴や作家について多面的に調べている。		○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	様々な表現の中から意欲的に自らが求めるものを探し出し、理解しようとする態度を養う。	振り返りシート					意欲的に作品を探し出し、作品や作家について理解しようとしている。				
	単元　模写（油彩画）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				14
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	油絵具の使い方と油画表現の技法を学ぶ。	油絵の具の使用方法とその表現方法					油絵具の使い方と油画表現の技法を学び作品に反映させている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	観察力、思考力、表現力を高め、今後自らの作品に反映させようと様々な技法を試す。	油絵具用品（絵具、画溶液、パレット他）、新聞紙、教科書等	○				観察力、思考力、表現力を高め、油彩の技法をあれこれ試している。	○	○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	根気強く観察し、手数を惜しまず表現の再現を試みる。道具類を大切に扱い、準備から片付けまでを積極的に行う。	振り返りシート					根気強く観察し、表現を試みている。主体的に準備や片付けを行っている。				

合計
70